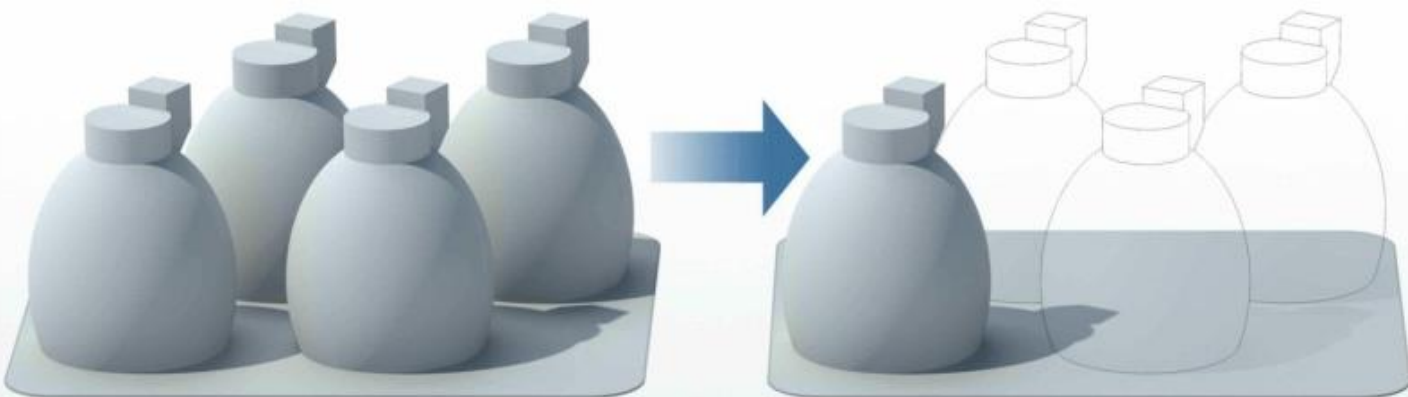


セミドライメタン発酵装置

新発想の低コスト・エネルギー回収型消化槽



実証実験設備



コンセプト

汚泥消化施設をエネルギー回収装置として高効率化

- 投入汚泥の高濃度化、消化日数の効率化を実施。
- 施設の小型化による建設費低減。
- 加温・保温熱量削減により有効利用ガス量の増加を目指す。

①投入汚泥の高濃度化

メタン発酵阻害が発生しない範囲での高濃度化

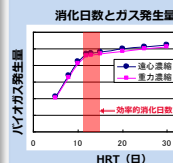
従来
2~4%

セミドライ
8%

消化槽容量が $1/4 \sim 1/2$

②消化日数の効率化

消化ガス発生量から効率的消化日数に短縮



従来
30日

セミドライ
12~15日

消化槽容量が $1/2$

消化タンク容量が $1/8 \sim 1/4$

有効利用ガス量の増大

外部利用
可能ガス

<

外部利用
可能ガス

加温等に
必要となる
ガス

加温等に
必要となる
ガス

>

消化槽

セミドライ
消化槽

従来法

セミドライ

消化設備で消費する熱量が少ないため、
外部利用可能ガス量は従来法より多くなる
※図はイメージ

建設技術審査証明取得



※「セミドライ」、「セミドライメタン」は水ing株式会社の登録商標です。